

環境経営レポート

運用期間: 2023年1月1日～2023年12月31日



作成日: 令和6年7月19日

株式会社 山丈商事

目次

1.組織の概要	1
2.実施体制	2
3.環境経営方針	3
4.環境経営目標	4
5.環境経営計画	5
6.環境経営目標の実績・取組結果並びに次年度の環境経営目標	6
7.環境経営計画の取組結果・評価	7
8.当社の取組み	8
9.環境経営計画（次年度）	9
9.環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、 並びに次年度の環境経営目標	10
10.代表者による全体の評価と見直し・指示	11

組織の概要

1.事業者名及び代表者名

株式会社 山丈商事
代表取締役 宮崎 顯

2.所在地

静岡県静岡市清水区草ヶ谷27番地の14

3.会社履歴

法人設立 2006年7月 資本金 100万円 事業年度 当年1月～12月

4.環境管理責任者氏名、連絡先

環境管理責任者 杉山 直央
連絡先 054-371-9300

5.事業の概要

一般廃棄物・産業廃棄物収集運搬及び関連業務

6.事業の規模(事業年度:当年1月～12月)

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
売上高(百万)	20.9	22	22	27	28
一般廃棄物収集運搬量(t)	274.14	248.27	256.81	243.87	227.29
産業廃棄物収集運搬量(t)	180.59	166.91	97.79	134.69	156.17
従業員数(人)	5	6	7	7	7
延床面積(m ²)	330.6	330.6	330.6	330.6	330.6

7.レポートの運用期間及び発行日

運用期間(2023年1月1日～2023年12月31日)
発行日: 令和6年7月19日

8.対象範囲(認証・登録範囲)

対象活動: 一般廃棄物・産業廃棄物収集運搬業
対象組織: 全組織・全活動

9.事業活動

静岡市 一般廃棄物収集運搬許可 第 10067号
許可の年月日 令和6年4月1日
有効年月日 令和8年3月31日

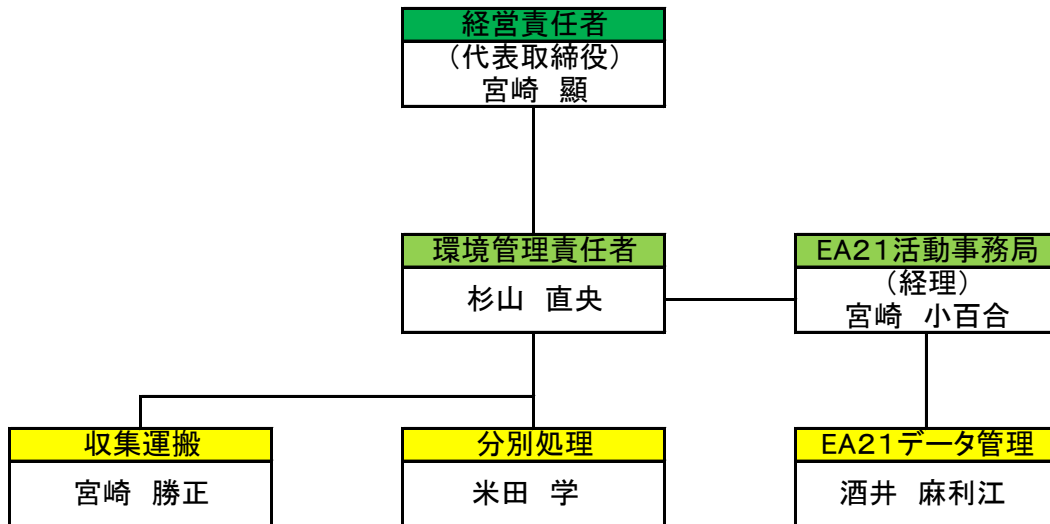
静岡県 産業廃棄物収集運搬許可 第 02202140057号
許可品目 廃プラスチック類(石綿含有廃棄物を除き、水銀使用製品産業廃棄物を含む。)、
金属くず(水銀使用製品産業廃棄物を含む。)、ガラスくず・コンクリートくず及び
陶磁器くず(石綿含有廃棄物を除き、水銀使用製品産業廃棄物を含む。)、
がれき類(石綿含有廃棄物を除く。)、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ
許可の年月日 令和5年6月8日
有効年月日 令和10年6月7日

10.収集運搬台数

塵芥車 2t 1台
塵芥車 2.6t 1台
キャブオーバトラック 2台

実施体制

作成日：2020年11月1日



＜環境管理組織における機能＞

経営責任者

- ①環境経営全般に対する責任と権限
- ②環境経営方針の作成と社員への周知
- ③環境管理責任者の任命
- ④実施体制の構築
- ⑤全体の評価と見直し

環境管理責任者

- ①環境経営計画の推進
- ②環境経営目標及び環境経営計画の作成
- ③環境経営推進会議の実施
- ④経営者への進捗報告



EA21活動事務局

- ①データ集計、関係文書・記録の管理
- ②活動計画の実績管理
- ③環境負荷・環境への取組の自己チェックの実施
- ④環境管理責任者補佐
- ⑤環境関連法規制等最新版管理

各部門

- ①環境経営計画の実施
- ②月別部門データの集計
- ③問題点の把握と是正の実施
- ④推進会議の出席



環境経営方針



＜環境経営理念＞



株式会社山丈商事が事業活動を行う静岡市清水区は、北部山間部は茶の生産地であり、南部は駿河湾に面し、清水港を中心に発展してきました。この美しい自然を次世代へ継承するために、環境負荷の低減・地球環境の保全に継続的に取り組んでまいります。また、廃棄物は貴重な資源であるという認識を持ち循環型社会の構築に努めます。

＜基本方針＞

当社は環境経営理念に基づき、次の事項を重点的に取り組みます。

1. 省資源・省エネルギー活動に取り組み、事業活動における廃棄物排出量、二酸化炭素排出量の削減に努めます。
2. 廃棄物の収集運搬業務を通じ、循環型社会の形成に貢献することを目指します。
3. 環境関連の法令や条例、その他規制等を理解し、遵守します。
4. 全従業員への環境教育の実施、環境方針の周知徹底により積極的な環境活動への取り組みを目指します。
5. 環境保全への取組結果を評価し見直すことで継続的改善に努めます。
6. 当社の環境活動は環境活動レポートにて一般に公表します。

制定日 2020年11月1日
株式会社 山丈商事
代表取締役 宮崎 顯

環境経営目標

1.運用期間(2023年1月～2023年12月)

項目		単位	基準期間	運用期間	
			2019年1月 ～ 2019年12月	2023年1月	～ 2023年12月
			基準値	目標削減率	目標値
二酸化炭素排出量		kg-CO2	37202.37	-3%	35,364
内訳	購入電力	kwh	783	-3%	760
	ガソリン	L	1385.67	-3%	1,344
	軽油	L	13,044.21	-3%	12,653
一般廃棄物排出量		kg	216	-3%	210
水使用量		m ³	2023年1月～12月を基準とする		

<備考>

*「購入電力」の二酸化炭素排出量は、中部電力(2019年度)の調整後排出係数「0.426kg-CO2/kWh」を使用した。

*水使用量は2022年9月から計測開始したが他の項目との兼ね合いによる
管理のしやすさから2023年を基準期間とする。

2.中長期の環境目標

項目		単位	基準年度	目標年度		
			2019年度	2024年度	2025年度	2026年度
			2019年1月 ～ 2019年12月	2024年1月 ～ 2024年12月	2025年1月 ～ 2025年12月	2026年1月 ～ 2026年12月
二酸化炭素排出量		kg-CO2	37,202.37	-3%	-4%	-5%
内訳	購入電力	kwh	783	-3%	-4%	-5%
	ガソリン	L	1,385.67	-3%	-4%	-5%
	軽油	L	13,044.21	-3%	-4%	-5%
一般廃棄物排出量		kg	216	-3%	-4%	-5%
水使用量		m ³	7.28	-1%	-2%	-3%

<備考>

「購入電力」の二酸化炭素排出量は、中部電力(2019年度)の調整後排出係数「0.426kg-CO2/kWh」を使用した。

環境経営計画

<二酸化炭素排出量の削減>

活動項目	責任者	スケジュール											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
電気使用量の削減	①消灯の徹底												
	②エアコンの温度設定(夏26℃冬22℃)												
	③クールビズ・ウォームビズの取組												
	④エアコンフィルターの定期清掃												
ガソリン・軽油使用量の削減	①日常・定期点検の実施												
	②不要な荷物は積まない												
	③急発進しない(最初の5秒時速20km目安)												
	④車間距離にゆとりをもち、加速減速を少なくする												
	⑤カーエアコンの適切な使用(暖房時A/CはOFF)												
	⑥各車両の燃費管理												

<廃棄物排出量の削減>

活動項目	責任者	スケジュール											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
①ごみの分別	杉山												
②リサイクルの取組													
③ミスプリントの裏紙の有効利用													
④コピー機使用前の設定確認、使用後のリセットを徹底しミスコピーを防ぐ													
⑤積極的なグリーン購入	宮崎												

<水使用量の削減>

活動項目	責任者	スケジュール											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
①必要以上に水を流さず、節水を心がける	杉山												
②洗車時の水使用量を減らす													
③ストップガンによる洗車													
④流量計による使用量の把握													

<受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮>

活動項目	責任者	スケジュール											
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
①排出業者との情報交換、分別協力要請	杉山												
②収集運搬ルート効率化の検討(道路状況考慮)、記録作成													
④ドライブレコーダー映像確認、振り返り													

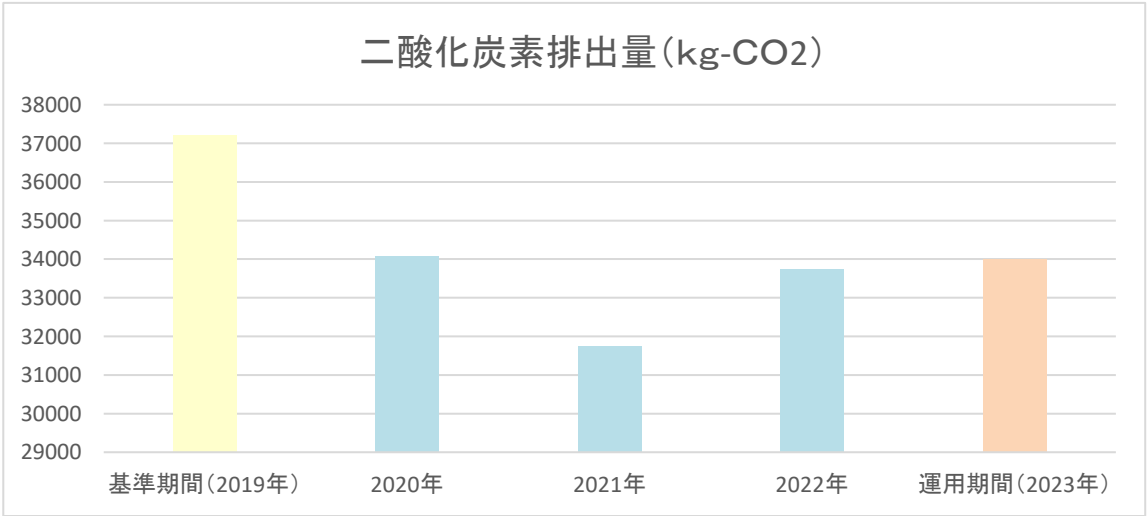
環境経営目標の実績・取組結果並びに次年度の環境経営目標

1.運用期間（2023年1月～2023年12月）

項目		単位	基準期間	運用期間				
			2019年1月 ～ 2019年12月	2023年1月 ～ 2023年12月				
			基準値	目標削減率	目標値	実績削減率	実績値	評価
二酸化炭素排出量		kg-CO2	37,202.37	-3%	35,364	-8%	34,008	○
内訳	購入電力	kwh	783	-3%	760	6%	830	×
	ガソリン	L	1385.67	-3%	1,344	-75%	345.44	○
	軽油	L	13,044.21	-3%	12,653	-2%	12,737	×
一般廃棄物排出量		kg	216	-3%	210	-52%	102	○
水使用量		m³	2023年1月から2023年12月を基準とする					7.28

*水使用量は2022年9月から計測開始したが、他の項目との兼ね合いによる
管理のしやすさから2023年を基準期間とする。

	基準期間(2019年)	2020年	2021年	2022年	運用期間(2023年)
二酸化炭素排出量 (kg-CO2)	37202.37	34079.17	31735	33751	34008



<評価>

購入電力	原因	基準期間時点よりも人員が増加、電子マニフェスト使用増加
	是正	不在時の消灯徹底、呼びかけ
軽油	原因	以前よりも回収先が遠方であったり、回収現場が増加傾向にある為
	是正	排出業者と密な連絡を取り、回収回数を抑えていく。

2.次年度の環境経営目標
変更なし

環境経営計画の取組結果・評価

二酸化炭素排出量の削減

	活動項目	評価	今後の取組
電気使用量の削減	①消灯の徹底	○	継続実施
	②エアコンの温度設定(夏26℃冬22℃)	○	継続実施
	③クールビズ・ウォームビズの取組	○	継続実施
	④エアコンフィルターの定期清掃	○	継続実施
ガソリン・軽油使用量の削減	①日常・定期点検の実施	○	継続実施
	②不要な荷物は積まない	○	継続実施
	③急発進しない(最初の5秒時速20km目安)	○	継続実施
	④車間距離にゆとりをもち、加速減速を少なくする	○	継続実施
	⑤カーエアコンの適切な使用(暖房時A/CはOFF)	○	継続実施
	⑥各車両の燃費管理	○	継続実施

廃棄物排出量の削減

活動項目	評価	今後の取組
①ごみの分別	○	継続実施
②リサイクルの取組	○	継続実施
③ミспrintの裏紙の有効利用	○	継続実施
④コピー機使用前の設定確認、使用後のリセットを徹底しミスコピーを防ぐ	○	継続実施
⑤積極的なグリーン購入	○	継続実施

水使用量の削減

活動項目	評価	今後の取組
①必要以上に水を流さず、節水を心がける	○	継続実施
②洗車時の水使用量を減らす	○	継続実施
③ストップガンによる洗車	○	継続実施
④流量計による使用量の把握	○	継続実施

受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮

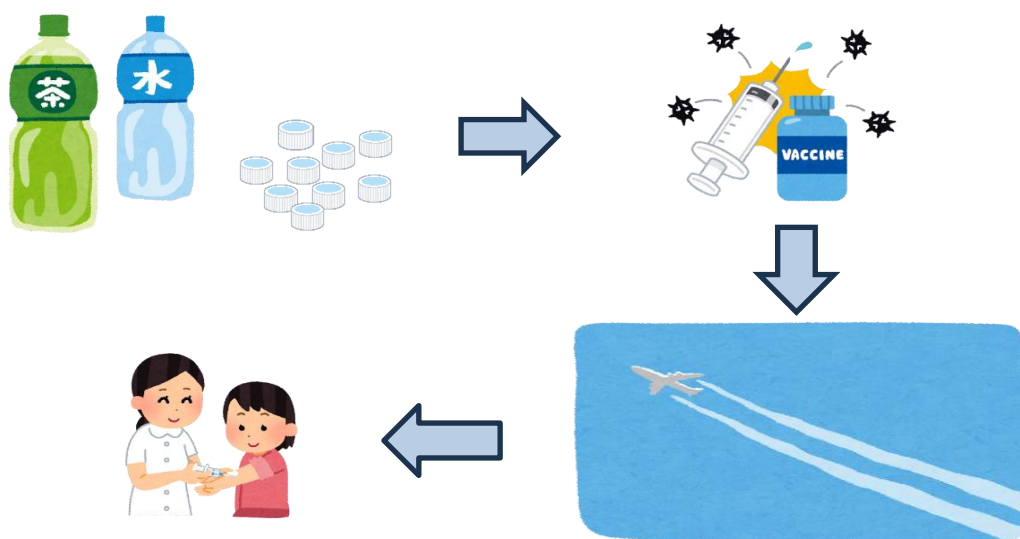
活動項目	評価	今後の取組
①排出業者との情報交換、分別協力要請	○	継続実施
②収集運搬ルート効率化の検討(道路状況考慮)、記録作成	○	継続実施
③ドライブレコーダー映像確認、振り返り	△	継続実施

当社の取組み

✧ ✧ ✧  エコキャップ運動に取り組んでいます！  ✧ ✧ ✧



仕事の合間に少しずつですが
きれいにしています。



リサイクルの促進、売却益で発展途上国の医療促進へ繋がります。
集めたキャップを社会福祉協議会へ持ち込み、そこからリサイクル業者へ売却・換金され
ポリオ(小児マヒ)などのワクチンになり東南アジアの国へ寄付されます。

環境経営計画(次年度)

二酸化炭素排出量の削減

	活動項目	今後の取組
電気使用量の削減	①消灯の徹底	継続実施
	②エアコンの温度設定(夏26℃冬22℃)	継続実施
	③クールビズ・ウォームビズの取組	継続実施
	④エアコンフィルターの定期清掃	継続実施
ガソリン・軽油使用量の削減	①日常・定期点検の実施	継続実施
	②不要な荷物は積まない	継続実施
	③急発進しない(最初の5秒時速20km目安)	継続実施
	④車間距離にゆとりをもち、加速減速を少なくする	継続実施
	⑤カーエアコンの適切な使用(暖房時A/CはOFF)	継続実施
	⑥各車両の燃費管理	継続実施

廃棄物排出量の削減

活動項目	今後の取組
①ごみの分別	継続実施
②リサイクルの取組	継続実施
③ミспrintの裏紙の有効利用	継続実施
④コピー機使用前の設定確認、使用後のリセットを徹底しミスコピーを防ぐ	継続実施
⑤積極的なグリーン購入	継続実施
⑥エコキャップ運動の取組	継続実施

水使用量の削減

活動項目	今後の取組
①必要以上に水を流さず、節水を心がける	継続実施
②洗車時の水使用量を減らす	継続実施
③ストップガンによる洗車	継続実施
④流量計による使用量の把握	継続実施

受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮

活動項目	今後の取組
①排出業者との情報交換、分別協力要請	継続実施
②収集運搬ルート効率化の検討(道路状況考慮)、記録作成	継続実施
③ドライブレコーダー映像確認、振り返り	継続実施

環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無



1.環境関連法規の遵守状況

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

法律・条例	遵守事項・規制基準	備考	遵守評価
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	契約書の締結	契約内容の確認	○
	産業廃棄物収集運搬業の許可申請	5年更新、許可の有効期限より3か月前受付	○
	マニフェストの運用・管理・保管	各票適切な処理・C2票5年間保管	○
	不法投棄の禁止		○
	廃棄物の悪臭・飛散防止	適正な輸送及びカバーをかける	○
静岡県・静岡市産業廃棄物の適正な処理に関する条例	委託先の実地確認と記録の保存	現地確認記録の保管	○
	一般廃棄物の分別排出	産業廃棄物と一般廃棄物の分別	○
家電リサイクル法	特定製品の回収・運搬に適切な引き渡し	エアコン、冷蔵庫、テレビ、洗濯機	○
道路交通法	安全運転の義務	道路、交通、及び車両の状況に応じ危害を及ぼさない速度と方法で運転	○
消防法	火災予防	事務所・車両の火災予防	○
地球温暖化対策推進法	温室効果ガス排出の抑制に努める	二酸化炭素排出量の削減	○
環境基本法	事業活動に伴って生じる公害の防止、又は自然環境を適正に保全するために必要な措置を講ずる。	ea21への取組	○
循環型社会形成推進基本法	①廃棄物の発生抑制②循環資源の循環的な利用③適正な処分の確保	廃棄物の内有用な物の循環的利用の促進	○
グリーン購入法	グリーン購入法基準の物品購入	文房具等調達時グリーン購入に配慮	○

2.違反、訴訟等の有無

関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟も過去3年間ありませんでした。



代表者による全体の評価と見直し

見直し 関連情報	項目		確認
	1	EA21文書	■記録・文書として作成しました
	2	環境経営目標及び目標達成状況	■購入電力、軽油が未達
	3	環境活動計画及び取組実施状況	■継続して取り組みます
	4	環境関連法規要求一覧及び遵守状況	■記録に記載しました
	5	外部コミュニケーション・対応記録	■特に問題ありません
	6	問題点の是正・予防処置の実施状況	■運用の継続の状況により様子をみて判断します
	7	取引先、業界、関係行政機関、その他の外部動向	■継続して取り組みます
	8	その他()	

代表者による 全体評価・ 見直し指示	全体として二酸化炭素排出量は目標達成したが、購入電力、軽油が目標達成できなかった。 今年度は収集場所が遠方であることもあり、次年度も引き続き状況は変わらないので排出業者と密にコミュニケーションを取り、効率よく回るようにしてほしい。 削減努力はしているものの購入電力の項目はここ3年未達のため、実際の状況を鑑み実態に合わせた目標設定をすることも視野に入れていきたい。 2024年7月19日 株式会社山丈商事 代表取締役 宮崎 顯		
		変更の 必要性	「有」の場合の指示事項等
	1	環境経営方針	有・無
	2	環境経営目標	有・無 2項目目標未達のため来年も-3%を目指す
	3	環境経営計画	有・無
	4	環境に関する組織(実施体制含め)	有・無
	5	その他のシステム要素	有・無
	6	その他(外部への対応)	有・無

環境上の緊急事態の対応

＜緊急時対策＞

災害や事故の発生を想定し、緊急時の対応を全員で確認し定期的に訓練することとする。

緊急事態の想定	緊急時対応	訓練内容
巨大地震・台風等の自然災害	ラジオ等により最新の情報収集	・避難場所への誘導 ・役割分担の明確化 ・適切な連絡経路確認 ・消火器の使用方法確認 ・整理整頓の確認
	避難場所への誘導・安否確認	
火災	火元確認・消防署への連絡・初期消火活動	
	周辺避難指示・安否確認	
事故・負傷	関係機関への連絡・会社への状況報告	

参考：静岡市防災マップ

＜訓練記録＞

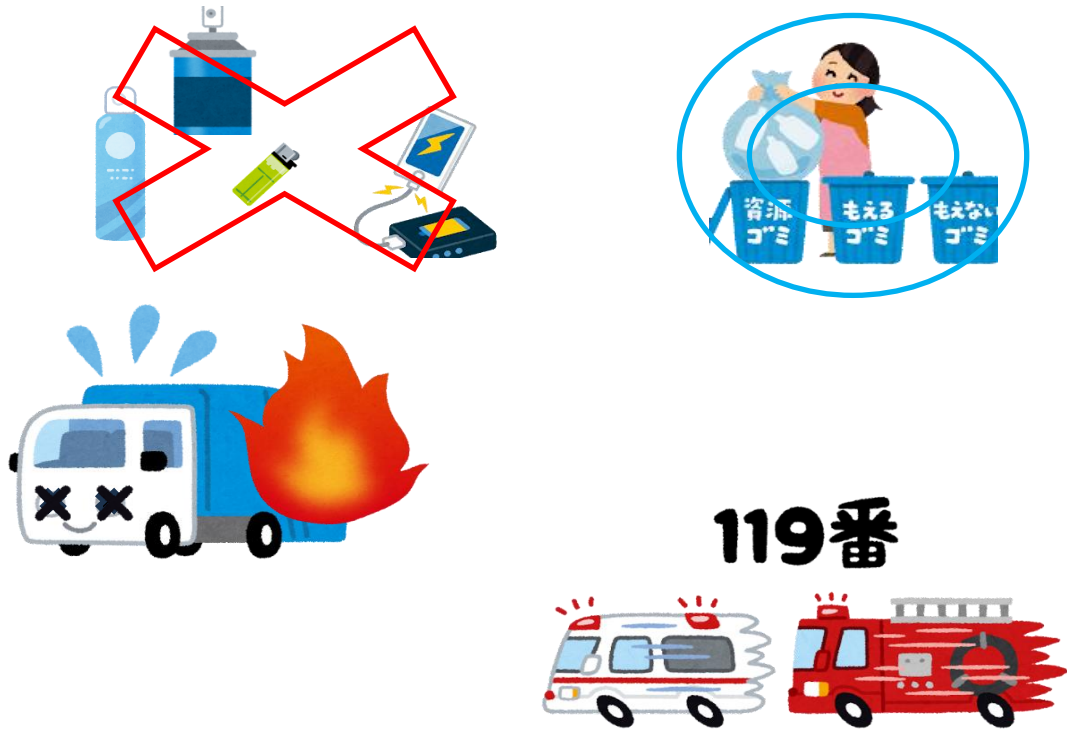
訓練日：令和6年3月15日

参加者：代表取締役含め全従業員

訓練内容：運搬車両（塵芥車）からの火災発生

評価と改善策：車両火災が発生したと想定して行った。

先日、市内でゴミ収集車火災が起きたばかりなので気を引き締めて訓練を行った。
出火原因はリチウムイオン電池が圧縮されて発火したとみられており
スマートフォンのバッテリーや電子タバコ等生活の一部になっているものを、処分が面倒に
思う人がいることも現実にある問題であり、日頃から呼びかけや確認を忘れずに行うこと。



是正処置確認報告書

発生日	2023年 8月 28日
(問題点) コンビニから回収したペットボトルの残飲料について。	
(原因) 排出事業者(コンビニ)から排出されるペットボトルに飲み残しの飲料が多く残っており、回収時に搬入されてしまう。	
(是正計画) ①残飲料を出さないように、排出事業者へ啓発を行う。 ②やむを得ず回収してしまった残飲料は、今後設置を予定している浄化槽で処理する。	
(結果確認) 啓発により排出事業者は、店内にごみ箱を設置し残飲料の投入防止に努めている。	
確認日	年 月 日

発生日	年 月 日
(問題点)	
(原因)	
(是正計画)	
(結果確認)	
確認日	年 月 日

苦情・相談対応記録

受付日	年 月 日		対応者	
申立人	氏名		連絡先	
	住所			
(苦情等内容)				
(事実確認)				
(対応状況)				
(対応結果)				
			確認日	年 月 日